

No. 1600

中曽根前首相 証人喚問

——衆院・予算委——

中曽根前首相は、5月25日衆議院予算委員会で行われたリクルート事件をめぐる証人喚問に出席。証言しました。
「私が内閣の責任者であったときにそのような不祥事があったことはまことに慙愧にたえない次第だ。とくに政治不信や、国政の停滞を起こしたことははなはだ申し訳なく心からおわび申し上げる。私が証人喚問に出ないと言って来た理由はやましいことはいっさいない。自分は潔白である。それは検察の捜査の経過でいずれおのずからわかることでそういう確信を持っていたからだ。」

中曽根前首相は自らのリクルート疑惑についてことごとく否定したものの政治的、道義的責任問題はこれからあとをひきそうです。

竹下首相最後の旅

——ASEAN 5ヶ国歴訪——

竹下首相は4月29日から5月7日までASEAN（東南アジア諸国連合）5ヶ国を公式訪問しました。
先ずタイの首都バンコクに到着した竹下首相はチャチャイ首相夫妻の出迎えをうけたあと空港で閲兵。首脳会談ではカンボジア問題、日・タイの経済協力が話し合われました。チトラダ宮殿でプーミボン国王に拝謁。

第2の訪問国マレーシアのクアラルンプール。マルディール首相との首脳会談では日本からの直接投資や技術提供の促進に対して日本が新しく援助することで合意しました。

新しいビルが立ち並ぶシンガポール。リ・カンユー首相と共に歓迎式典に出席した竹下首相はASEANが努力をつづけ日本がより一層協力するとのべました。

インドネシアのジャカルタ市内には両国首脳の写真が並んでいます。ムルデカ宮殿でスハルト大統領と会談。日本が資金面で20億ドルの経済援助をすることを表明。

最後の訪問国フィリピンのマニラではマラカニアン宮殿でアキノ大統領と会談。両首脳は対比多国間援助構想の年内実施を目指し共に努力していくことで合意しました。

竹下首相の今回のASEAN歴訪は日本の首相の6年ぶりの訪問とあってASEAN側から日本への要望が率直に示され有意義な最後の外遊となったようです。